



『憧れ』

私が乗った東京メトロ車内での出来事です。小学校低学年の外国の子供たち四・五人が、イタリア語、フランス語、英語、そして日本語で楽しそうに会話をしていました。まるで数十年前にハイドルベルグで映画を観終った時、映画の感想を各国の学生が母国語で話していた光景を思い出しました。

日本という国は何でも受け入れる国です。今、ハロウィンの経済効果はバレンタインを追い抜いたそうです。いろんなことを受け入れることができるということは能力が必要です。

仕事でもまずお客様の要望を取り入れることが大切ですが、ついつい今までの自分の経験で答えを出してしまいます。そこには、新たな展開はなく、今まで通りの古い方法でしか答えは見出せません。そこには今の環境や現状は把握されておらず、おのずとそこにはイノベーションを起こすチャンスはないように思えます。

現在私は、県立広島大学大学院修士課程の聴講生として講義を受けており、そこでイノベーションとは、無いものを新たに作り出そうということではなく、組み合わせることだと教わりました。

私達の仕事である『建築』も「ある考え」と「ある材料」で「こうある」とする型を創造したいものです。この車内での何気ない出来事が日常のものとして見られる日本は素晴らしいと思います。

『美しく』『優雅に』そして『品格』を持って『日本の心』を次の世代に語りかけることに憧れます。

代表取締役 伊藤 弘幸

たてものの見聞録

～ 島根編 ～



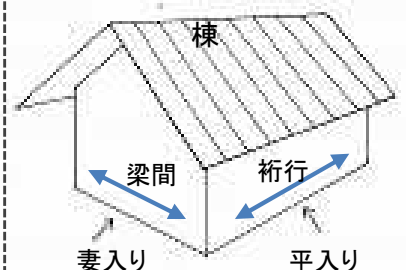
菅谷(すがや)たたら 高殿

菅谷たたら山内は、1792年～1921年まで129年間、たたら操業が行われた鉱山集落です。(集落＝山内(さんない)) 建物は、雲南市吉田町にある松江藩の鉄師・山林王田部(たなべ)家のたたら製鉄炉の建物です。現存建物は1850年の火災の後に再建された建物で平成26年11月に全面解体改修工事が完成しました。構造は**桁行**18.2m×**梁間**18.2m**入母屋造り、妻入り、こけら葺き**です。内部は、7.5m四方の押立柱が各隅に配置され、棟までの高さは8.5mと、中に入ると圧倒される空間が見られます。木材はクリの木が多く使われており、屋根もクリ材の**こけら板**(135,000枚)を使用しています。中国地方が嘗て鉄の一大産地だった事を物語る建物です。松江自動車道雲南吉田ICの近くにあり、田部家土蔵群等の古い町並みも見られます。ぜひ一度足を運んでみてください。(H.S)

●入母屋造り…母屋を切り妻とし、その四方に庇を付けた形で、**寄棟造り**の上部に切妻造りをかさねたもの。もっとも格式高い形式。(左下図参照)

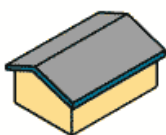
●**柿(こけら)葺**…こけら板とは厚さ1.5～5mm、幅10cm、長さ30cmの板のこと。素材は一般的には杉、榎(さわら)だが、出雲地方では栗が多く利用されている。

●妻入り…日本建築の建物への出入口の設置場所は、基本的には**平入り**と**妻入り**がある。(右上図参照)

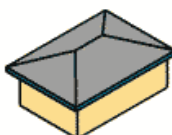


国の重要有形民俗文化財に指定されており、アニメ「もののけ姫」のモデル、映画「たたら侍」のシーンにも使われています。

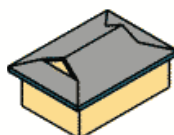
屋根の形式



【切り妻】



【寄棟】



【入母屋】

～近代建築の巨匠たちと名作椅子～

■ “Less is more.” (少ないほど、豊かだ) —ミース・ファン・デル・ローエ



近代になり、鉄骨・鉄筋コンクリート造の構造体によって、煉瓦や石では不可能だった広い空間づくりが可能になりました。
ユニバーサル・スペースという、床・天井と最小限の柱と壁によって、内部空間を限定せずに使い手によってどのような用途にも使える空間を提唱しました。
無駄を省いたシンプルな美しさは同時に、細部においても確かな技術に裏付けられたものです。

上左：ファンズワース邸 1951年

上右：MRチェア 建築力学のカンチレバー（片持ち梁）構造を応用した、単純で美しい一筆書きスチールパイプの名作椅子。

下右：バルセロナ・パヴィリオン 1929年

ガラスと鉄と大理石によるシンプルな構造。

下左：バルセロナ・チェア 従来、垂直に支持していた脚をスチールで溶接して仕上げることで、極限まで無駄をそぎ落とし、美しい曲線と弾力性が生まれた。



■ “自然の要素を純粋に幾何学的な表現手段で抽象すること” —フランク・ロイド・ライト



一貫して自然と建築の融合を唱え、有機的建築を数多く設計しました。また、内装においても自然を手本として、家具やテキスタイル、照明やカトラリーにわたるまで手掛けています。
『家具の形状は、全体の中で意図され、かつ楽しまなければならない』

自然と住居と人間の調和を意識してトータルに計画した全体空間の中において、機能だけではなく、表情や感情のある家具をデザインしました。

上左：旧帝国ホテル 1923年

上右：帝国ホテルの宴会場「孔雀の間」のためにデザインされた椅子。特徴的な六角形は建物の随所に使われている。

下右：ロビー邸 1909年 どこまでも水平に伸びるようなラインが特徴的な建築

下左：ロビー・チェア 空間と調和するデザイン。



■ “住宅は住むための機械” —ル・コルビジェ



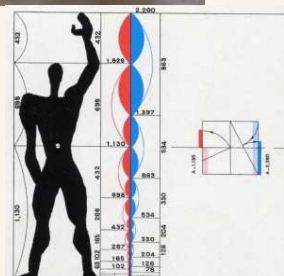
上左：サヴォア邸 1931年
ピロティ、屋上庭園などの近代建築の5原則を体現した代表作

上右：シェーズロング コルビジェはこの椅子を休息のための機械と呼んだ

下右：カップ・マルタンの小屋 1952年

晩年の作品、約8帖の「最小限住宅」
下左：小屋も造作家具も全てモジュロールが基準となっている。

伝統的な建築からの転換を図り、ドミノシステム（鉄筋コンクリートのフレーム構造）や近代建築の5原則の考案、モデュロール（黄金比や人体のプロポーション等から導き出された独自の建築寸法の尺度）の発明など、建築の新しいアイディアを考案しました。また、既成の装飾主義や芸術品としてのインテリアから脱却した、普遍的な美と機能を持つ設備品としての家具を生み出しました。



～ウイズアートの施工現場から～

住宅新築



【施工中・音戸の家新築工事 ～呉市～】

別荘を建築中です。クリスマスには、お孫さんたちとここで楽しんで頂けると
思います。(竹本)

住宅新築



外観



リビング



廊下



ポーチ

【完成・Y様邸新築工事 ～広島市南区東雲～】

白を基調とした明るい、施主様の想いのこもった住宅が完成しました。
ポーチには電気自動車用の充電設備も設けてます。(丸口)

公共施設



耐震改修

舗装

【施工中・S浄水場汚泥処理棟外部改修 その他工事 ～佐伯区五日市町～】

広島県の施設の仕事です。(丸口・下野)

住宅リフォーム



軒下拡大

【施工中・O様邸改修工事 ～安芸郡海田町～】

蔵を解体し、母屋を改修中です。蔵と繋がっていた母屋を切り離して、壁を作りました。左官さんが粋なヒョウタンの装飾を残しています。(下野)

工場新築



外観

公共施設



←
老朽化により開か
なくなった排煙窓
の修理をしました。
(植村)



【完了・県立A高校体育館排煙窓補修工事 ～安芸区～】



内観

【完成・S(株)工場新築工事～東広島市豊栄町～】

手洗いボールを交換して、シンプル
で爽やかな空間に
生まれ変わりました。壁紙もフレッ
シュな柄物にチェ
ンジしています。
(竹本)



事務所リフォーム



【完了・S(株)トイレ改修工事 ～広島市中区竹屋町～】

多種多様の工事現場を、メンバーがいくつか担当します。どの現場も大切に、仕事をします！！

K様邸外壁明装工事(安芸区矢野)

新築から20年経った2階建木造住宅。施主様が定年されたのを機に外壁・屋根等をリフォームされました。工事期間は約1ヶ月です。落ち着いた色の塗装で、上品な外観に仕上がりました。(丸口 担当)



【工事着工前】



①水洗い



②下塗り



③中塗り



④上塗り



⑤完成



★コーキング
防水等の為に隙間を
埋めること
★窓廻りもコーキング
をして塗装します



★コーキング
防水等の為に隙間を
埋めること



【工事完了】



屋根瓦も劣化状況が
激しくセメント瓦から塗
替不要の柚葉瓦に葺
き替えしました。樋も新
規に取替えしました。



玄関ドアは取替えなくてもシートを
貼れば新規同様となります。

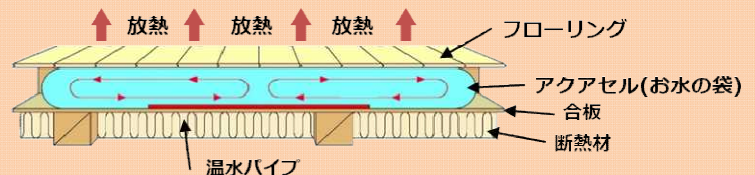
21世紀の新しい床暖房 アクアレイヤー で家中暖かく

- 床下の水の袋は穴をあけない限り漏れることはありません。非常時の備蓄水になります。
- 新築・改修どちらにも対応
- 参考ランニングコスト(電気の場合)
ファミリータイプⅠの契約で→約3,600円/月
- 参考価格(材料費+熱源機+工事費)→120万円
リビングダイニング・キッチン(合計約20㎡)

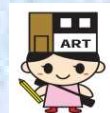


まるで春の
日だまり!

熱くならないから
無垢材もOK



第1回「ウイズアート賞」応募作品発表



第1回 ウイズアート賞



今回初めての試みで「家(住まい)」をテーマに絵と作文で作品を募集いたしました。作文の応募はありませんでしたが、絵の作品を市内、県外より応募いただきました。ご応募いただいた皆様、誠にありがとうございました。それぞれ思いのこもった明るい楽しい「家」の作品に『夢』を感じ、大変うれしく思いました。そこで今回は賞として1点を選ぶのではなく皆様に図書券(千円分)をお渡しさせていただくこととしました。第2回も企画する予定です。次回はもっと皆様に応募していただけるようなテーマにしたいと思っておりますので、どうぞご期待ください!!

ウイズアートの今治産タオル

年末にお渡ししておりますカレンダーに変えまして
今年は、10周年記念作成、今治産のふんわりタオル
(社歌入り)をお届けします。



株式会社 ウイズアート

住所 広島市中区竹屋町1番17号IMビル8F
TEL/FAX 082-247-0062 / 247-0063
Eメール itoh@uizu-art.jp
ホームページ ウイズアート広島 で検索